

03 若手職員 裁判所事務官

就職先として裁判所を選んだのはなぜですか。

大学で学んだ法律の知識を、裁判事務という専門性の高い仕事に生かすことができる点に魅力を感じました。また、業務説明会で職員と話した際、上司や先輩に相談しやすく、雰囲気が良く働きやすい職場だと感じたことも裁判所を選んだ理由の一つです。

採用試験に向けて、どのような勉強をどのようなスケジュールで取り組みましたか。

大学3年生の夏頃から、学内の公務員講座を受け、試験科目の勉強を始めました。年明けからは、公務員講座の講師や友人に協力してもらって、面接練習も行い、試験直前には、裁判所の過去問を集中的に解き、出題傾向をつかむようにしました。



これからの目標を教えてください。

様々な分野の仕事に挑戦し、幅広い知識を身に着け、経験を積むことで、裁判所の利用者や周りの職員から信頼される職員になりたいと思っています。また、書記官に任官するために、職場の書記官養成課程入所試験の勉強会に参加し、試験勉強を進めています。



灘口 早希

鳥取地方裁判所
裁判所事務官
(R4採用 法律系の学部出身)